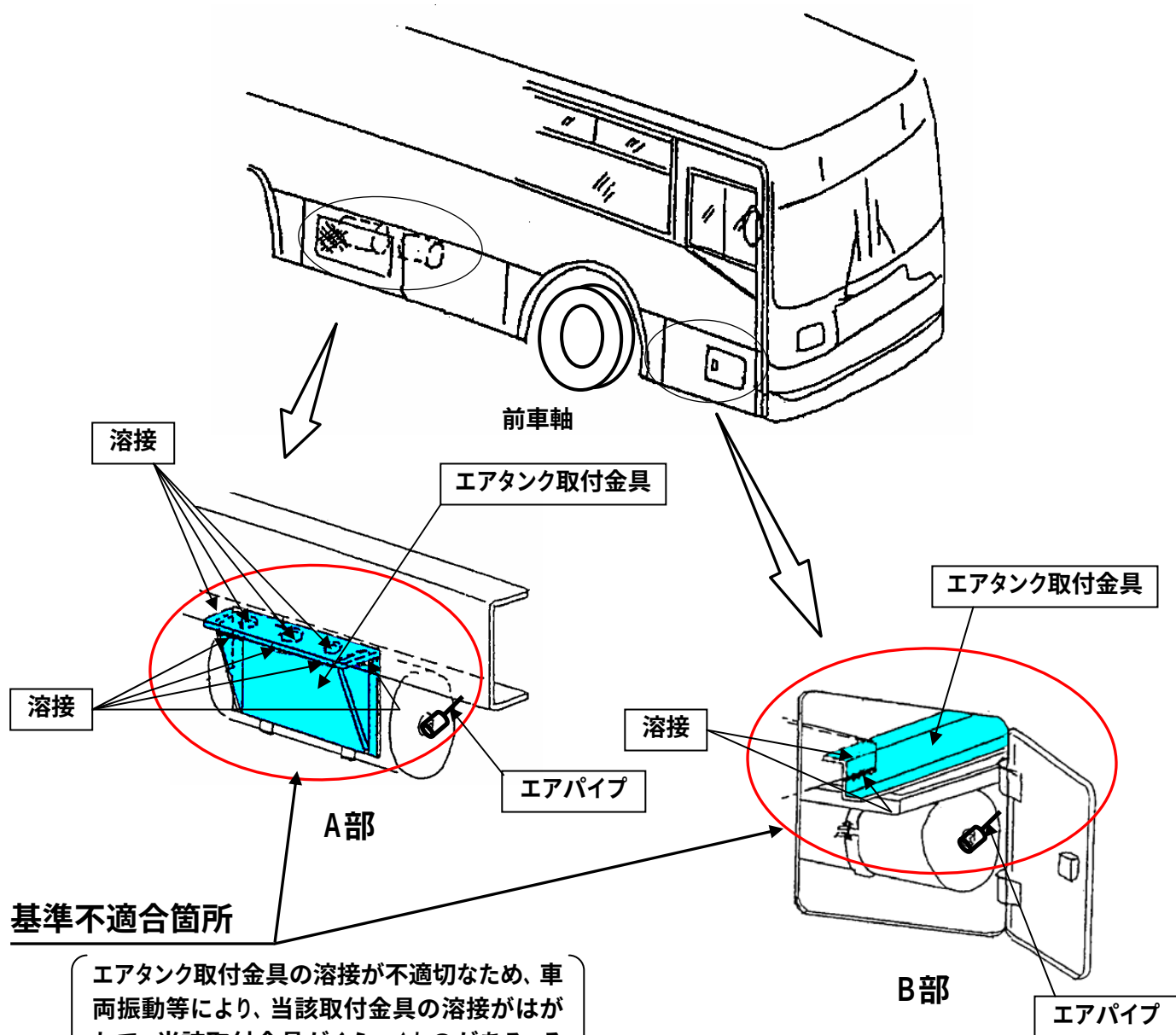


改善箇所説明図②



エアタンク取付金具の溶接が不適切なため、車両振動等により、当該取付金具の溶接がはがれて、当該取付金具がぐらつくものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該エアタンクに取り付けられたエアパイプが損傷し、最悪の場合、エアが漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該取付金具の溶接の状況を点検し、溶接が不適切な場合、溶接補修を行う。なお、エアパイプを点検し、エアパイプが損傷しているものは、エアパイプを新品に交換する。

注：□ は補修部品及び交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB-15」の文字が記載された白黄色シールを貼り付ける。